

■ 第1回学校運営協議会を実施しました。

6月22日(火)午後5時半から、今年度最初の学校運営協議会を開催しました。

本校では、地域人材や組織の中から、学校とともに地域の課題を共有したり、地域の課題に直結する学校の課題を共有したりできる人材・組織の代表で学校運営協議会を構成していますが、年度が替わったことにより11名の委員の交代がありました。会の最初に委員の自己紹介を行い、その後、今年度の会長・副会長の選出を行いました。今年度は、会長に下関市豊北生涯学習センターの白岡勝典様、副会長に山口県地域連携エキスパートの安富浩様が選出されました。

報告事項では、学校運営方針や学校評価書について説明し、承認をいただきました。また、昨年度の地域と連携・協働した活動についても報告し、その後、今年度の地域と連携・協働した取組「実施計画」について説明、承認をいただきました。

協議事項では、「熟議」について協議を行いました。コミュニティ・スクール活動推進員の秋枝一成様から、昨年度、豊北中学校と下関北高校の生徒会で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった「熟議」について、本年度は是非実施したいとのご意見をいただき、「『私たちが社会(地域)にできること』～生徒会として行える地域貢献～」というテーマで実施要領が示され協議に入りました。委員の方からは「様々な職種の方がおられるので生徒のアイデアを応援したい。」とか、「ぜひ小学校(5・6年生)も参加したい。何をどうやるかの具体策を考えるのが面白いのではないだろうか。サポートに地域が入ればよいのでは。」「『熟議』これは素晴らしい活動だ。ぜひ行ってほしい。チャレンジする気合を示してほしい。ICTを活用した教育ができる時代なので、全国の高校生が同じ授業ができる。山口でも可能なことがあるのではないか。」など、様々なご意見をいただきました。

「なるべく多くの人に聞いてもらいたい。何ができるのか考えるために熟議を行っていききたい。いつがよいか時期を調整し、3学期までには行いたい。子供たちはいずれ外に出るだろう。帰って来れる場所を作ってやりたい。」と秋枝様のご意見を述べられ、地域と学校が協力して実施に向けて取り組むことを確認して協議が終了しました。

今後は、協議会でいただいた様々なご意見について、校内や関係組織と協議や調整を行いながら、子どもたちのためになり実現可能な取組から、実施に向けて準備を進めていきたいと考えています。



■ 性に関する教育講演会を実施しました。

6月22日(火)の7限に、山口県済生会豊浦病院 産婦人科科長 副院長の岡田理様を講師としてお迎えし、今年度の「性に関する教育講演会」を本校体育館で全校生徒を対象に開催しました。岡田先生は平成14年から現在まで中学校や高等学校で性教育に関する講演会をされてきました。

今回の演題は、「思春期の心と体(10代で考える妊娠と性感染症)」、高校生に必要な性知識や相手を思いやる心の大切さについて、お話をいただきました。

岡田先生は、「なぜ、人間だけ性教育が必要か」というところから話を始められました。そして、産婦人科の仕事内容、包括的セクシャリティ教育(人生のすべての性行動の選択場面に有効な自己決定能力の形成をめざす性教育)、2次性徴、避妊方法、性感染症、子宮頸がんとHPVワクチン等について丁寧に、今の生徒たちに必要なことを教えていただきました。

生徒たちは最初から最後まで熱心に岡田先生のお話を聞いており、日頃から関心はあっても聞きにくい内容だけに、色々と考えさせられることが多い貴重な時間になりました。



■ 面接ガイダンスⅡを実施しました。

7月1日(木)、4月27日(火)に続き、3年生対象の2回目の面接ガイダンスを実施しました。進路指導課長の吉田憲史先生の指導でガイダンスを行いました。

2回目の今回は、前回学んだ進学や就職時における面接事項やマナーに関する基礎的内容を思い出しながら、実際の面接の様子をDVDで見ながら、吉田先生が重要な場面での対応方法や言葉遣いについて、丁寧に説明されました。ドアのノックは何回、元気のよい挨拶をするタイミングは、椅子の左横まで進んだら最初に面接官に伝えることは、椅子への着席は、席を立つタイミングや退出時の挨拶など、面接試験を受ける際の所作や挨拶について学習した後、この質問にはどのように答えるべきなのか、自分の経験を交えて答えること、説得力のある受け答えについて、などの踏み込んだ内容についても全員で考えました。

その後、面接プリントに従って、「自分自身について」「学校・学校生活について」等の16個の項目に関する質問について考えをまとめていきました。2学期から始まる受験に向けて真剣に取り組みました。生徒にとってもよい経験となりました。



■ ハロかぼランタン・プロジェクト①

下関北高校では、地域の活性化に向けて、高校生ができる地域貢献活動に積極的に取り組むこととしています。

毎年、豊北町観光協会等と連携して、ハロウィンかぼちゃを活用して、豊北町のPR活動に取り組んでいます。このハロかぼランタン・プロジェクト事業も今年度で4年目を迎えます。

6月30日(水)には、その第一歩として、学校内の畑を活用して、実際にハロウィンかぼちゃの苗作りにチャレンジしました。植え付けた種は、観賞用かぼちゃ「ジャイアントカボチャ」13ポット、「スモールシュガー」39ポット、「アトランチックジャイアント」14ポットの3種類66粒です。本校の卒業生で、下関市豊北町神田上のバラ農家、(有)司ガーデンの中司武敏さんから植え付けの方法についても教えていただき、そのことを思い出しながら種を植えました。

JRC部の生徒は、種まき用の土をポットに入れ、深さ1cmの穴に一晩水につけておいた種を一粒一粒丁寧に植えました。植えたところを軽く手で押さえ水やりをして最初の作業は終了です。“早く芽を出せかぼちゃの種”の思いで、JRC部の生徒は毎朝水やりを行いました。昨年度は育っていた芽が2日間でナメクジに殆ど食べられてしまったので、7月2日(金)に丸太と板で作った棚の台の上にポットを移動させて、ナメクジ対策をしっかりとしました。その思いが通じたのか、7月5日(月)頃から芽が出始めました。それぞれのポットに元気の良い双葉が育っています。これから収穫に向けて日々お世話をしようと思います。



■ 生徒会役員選挙(立会演説会)を実施しました。

7月13日(火)に、生徒会役員選挙(立会演説会)を実施し、生徒会長に2年生1名、副会長に2年生2名、1年生3名、監査に1年生2名が立候補しました。

立会演説会では、冒頭に、選挙管理委員長の岡本一輝さんが「学校運営の中核、地域との架け橋となる重要な役割を担う新しい執行部を選ぶ」という選挙の大切さについてふれながら挨拶をしました。

その後、応援演説者が立候補者の人柄や日頃の様子など推薦理由について、立候補者が立候補の理由や選ばれた場合の抱負を力強く述べました。以下、立候補者の熱いメッセージの一部を紹介します。

「生徒一人ひとりの意見を反映させた学校行事を作り上げたい」、「北高生が親しみやすい、北高生の意見をくみ取っていく生徒会にしたい」、「学校をうまく運営するために縁の下のような存在になりたい」、「下関北高校をより良い学校に

したい」、「この北高を一人ひとりが互いに思いやりを持ち一緒に助け合う雰囲気のある環境にしたい」、「コロナ禍のなか学校行事を楽しく引っ張っていく先輩に憧れた」など、学校生活の充実に関すること、北高のよき伝統を継承することについて、立候補者の熱い思いが語られました。



■ 壮行式を実施しました。

7月13日(火)、第103回全国高等学校野球選手権山口大会に出場する硬式野球部、第99回全国高等学校相撲選手権大会に出場する相撲部の壮行式が行われました。硬式野球部は7月16日に宇部鴻城高等学校と1回戦を戦います。相撲部は8月6日から新潟県糸魚川市の糸魚川市民総合体育館で団体戦と個人戦に出場します。

各部の顧問からの大会紹介に続き、各部の主将から大会の概要や抱負が述べられました。そして校長先生、生徒会長の藤中さんから激励の言葉が贈られました。

そのあと、応援団が「いよいよ戦いの火ぶたがきられる。この一瞬のためにどれほどの汗と涙を流してきたであろうか。どれほど泥にまみれてきたであろうか。その努力をぶつけるときがきた。みなさんの努力は我々の日々の一瞬一瞬の努力につながるものでもあり、みなさんの魂に我々の魂も重ねて激なる声をとばすことをここに誓う。勝利の歓喜に包まれるか、敗北の悔しさに涙するか、勝負である以上、結末はどちらかである。しかし、いずれにせよ今回の戦いが、次の大いなる飛躍の一步とならんことを信じる。そして、それは、他ならぬ、我々の一步にもつながるものと信じている。硬式野球部、相撲部と、我々北高生すべての幸いを祈って、ここにエールを贈る。」と応援に寄せて言葉を送り、エールで選手たちを励ました。最後に全校生徒で校歌を熱唱し、応援委員による硬式野球部への千羽鶴の贈呈を行いました。

北高生としての誇りをもち、勝利をめざして正々堂々と最後まで全力を尽くしてほしいと思います。



■ 「北高会」より御寄付をいただきました。

7月13日(火)、「北高会」(下関市役所職員(主に合併前の旧豊北町役場職員)で、豊北高校の卒業生のみなさんでつくっておられる団体)から、会長で豊北総合支所長の内田浩美様、豊北総合支所建設農林水産課の藤河亮様が来校され、寄付金を和泉屋紀之校長に手渡されました。

「北高会」からは、2008年(平成20年)から会費の一部を寄付していただいております。今年で14回目となります。「全国高等学校総合体育大会に出場する相撲部や全国高等学校野球選手権山口大会を3日後に控えた野球部に対して活躍を期待している。」と、お言葉をいただきました。いただいた御寄付は、子どもたちの教育活動や部活動運営の補助として大切にに使わせていただきたいと思います。

「北高会」の皆様、お心遣いいただきまして本当にありがとうございました。

